



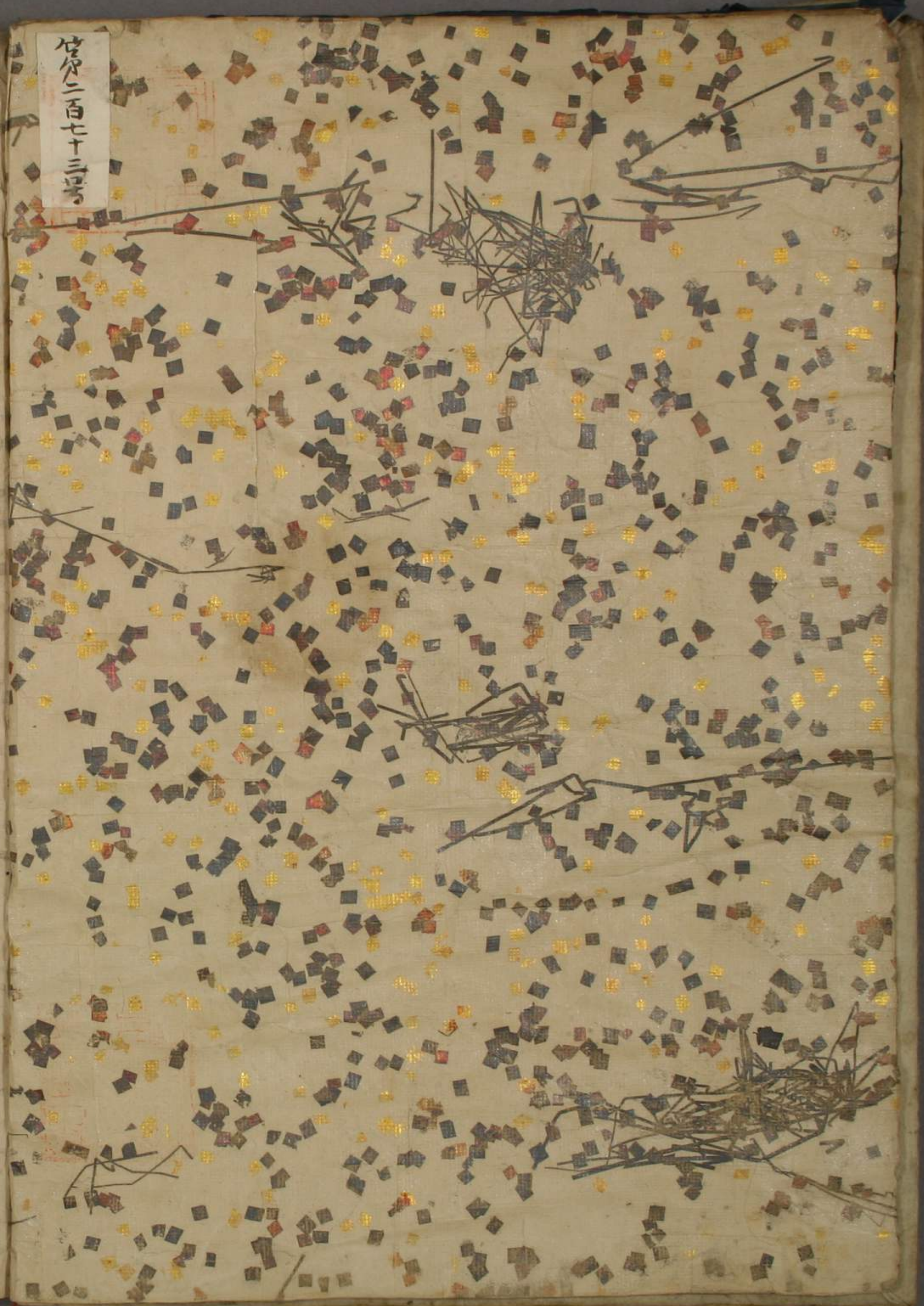
1840
78



1840



之れを心とせば其の心は
 花も亦之れと不無とれ然し
 其人と心合なり一能たせん
 西向し（はるかなる花の影）
 らるるなり（水も亦之れと不無とれ）
 高きより（はるかなる花の影）
 のし（心から）常然新（心）



詩の新一なるもの代々の名
うらやまも常の如くは
如し(子も別も口を
なほ具もさるる如く
句のつる人の情を
上を冠をけし先下ハ
族まゝもさるる如く

其の金情いふも
帰しはるるやふも
少後之如の貌^{カクテ}に
かの時よおけし
候とあふそわの中
鴻鳥煙水まに
狂く句をよめ

素心も只此もうちやい
眼先の品具及顔部の自然
心身の瑞書なゆめん孝子教の
一書が編行もうめい
教きつす心の趣じんきり
且知く学あ終くぬん免

不々解不動巧希らまのんり

たをまうるわく空船なま
眼あまうのまみ池の本心
ま向金しやまもあし
古書百の題号は借て用ん

浪死原洲流達子書

誹諧童子教者以何名之乎
叢以呂波字而以結句也樂
其志戲遊而識其躬好惡幼
雅者コロシテ駢諧コシラ日用言之則是優
為人事之一助南紀噴水士
輯錄之以水噴方圓為世人

之誠其名兼此集不朽者乎

閑逢掩茂園復日

浪速國推園才管誌

楚古てり山出る却満根枝
まか斗舟し象舟寺子舟老舟
如し万う心然し古如如き
し万年し如如田留階移
し万思里壽と天古如如
張子居し万云如如う良
以古美如し万古丹依

以之丹戸尔梅り一色を爲
きと神と凡世と不捨日お成然て
月と歌と集と守神りお初呂起
故にお貴

浪老俳諧堂西鶴菴

園水誌

一露降て班クダツの州以浸ヒタ一韻
憂ハビコり著述チヨ居ジツて以漸モト中風骨風水
味中人同義一々其乳と云々吾人
瑞是出於而を紀も玉清鴻と浦能
主人未艾のまゝ成正道と云々
一辨一呼ヨとく童女歌と云々

梅福公落月菴

西吟

乃水丈人撰^テ詠^ニ童子^ヲ教^ス
請^フ予^ニ序^ラ因^テ賦^ス一章^ヲ

安^ル然^ル童^子教^ス
明^ク多^ク童^子教^ス
善^ク哉^カ童^子教^ス

了^ル樂^シ童^子

童子^ノ在^リ皮^ノ味^ノ也^ト

六^ノ葉^ノ瓜^ノ

師を誰やうてん
三つはとととてん
其の為うとと氏の
順水之具百具は拾い
あつてはとのとてん

草の根ある事あり
あゝと早下して只
信と云ふと云

元禄七申夏

洛子書

言水
席

やううなれしぬと律あり
獲たしこい〜其中哉を
まといし志しり鳥あり兔
寸獲たし〜角はまはし律
化は哉閉眼をぬさのあ三神
三のまをん〜ぬと律く〜
と此頃水子徳哉びる歩行



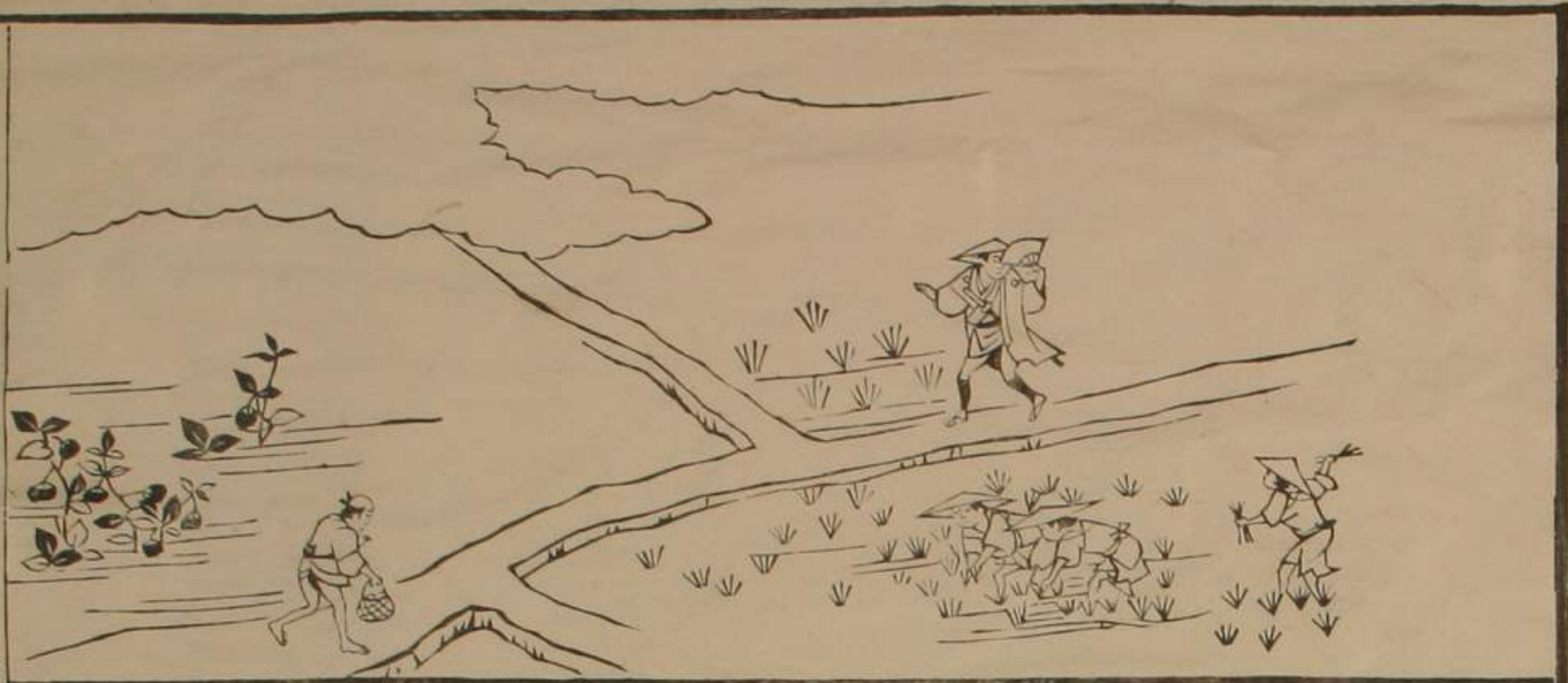
童子教題

白あゆや
 君乃歌を
 おやの杖
 言水
 我
 門照せ
 月の
 鏡水

哉乃人岷江の家
 を潤す也
 此
 童子教
 事
 甲

甲戌年仲夏中日

物叟書



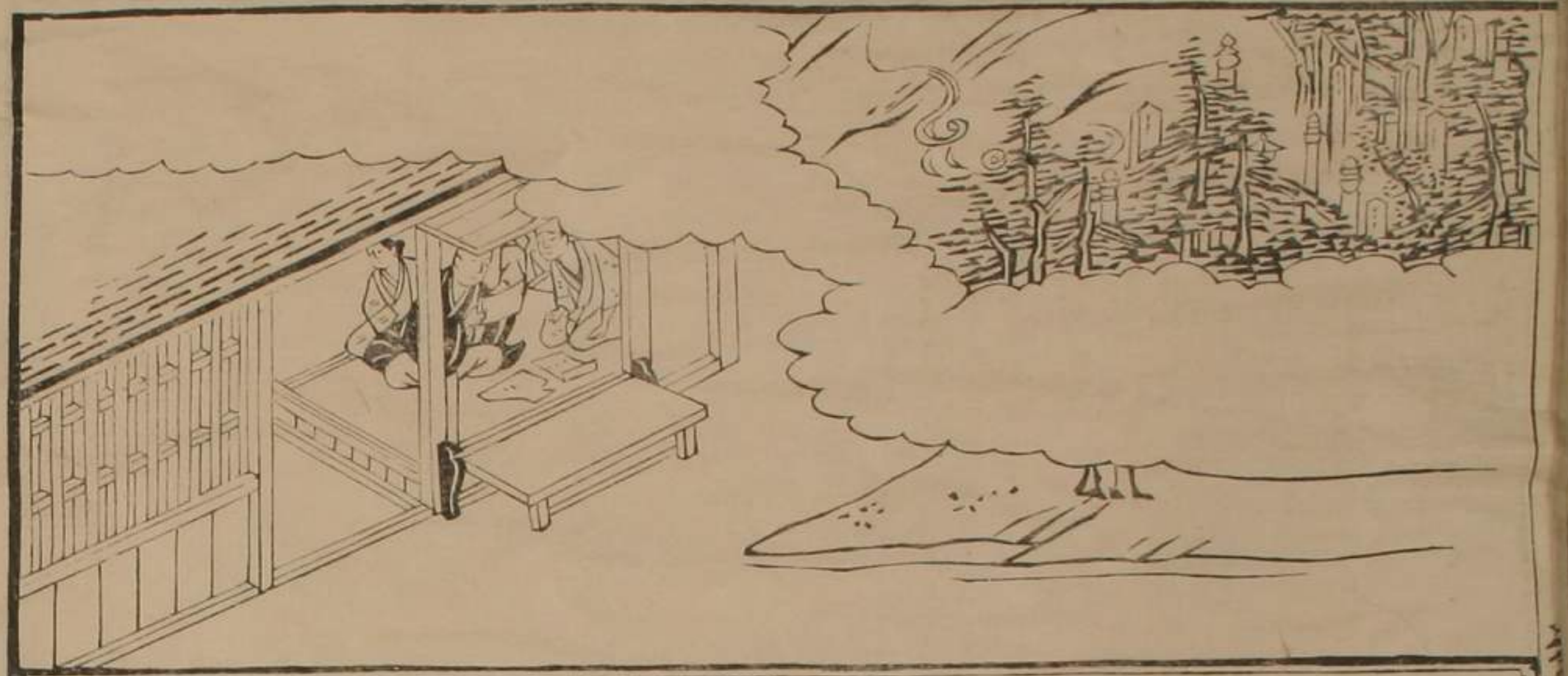
打し
 子備中言水
 刻め
 小茶
 料理
 けし
 小茶



五
 せめ
 子
 維の尾
 水
 洗車
 言水



家
 留
 犬
 竹
 水
 全



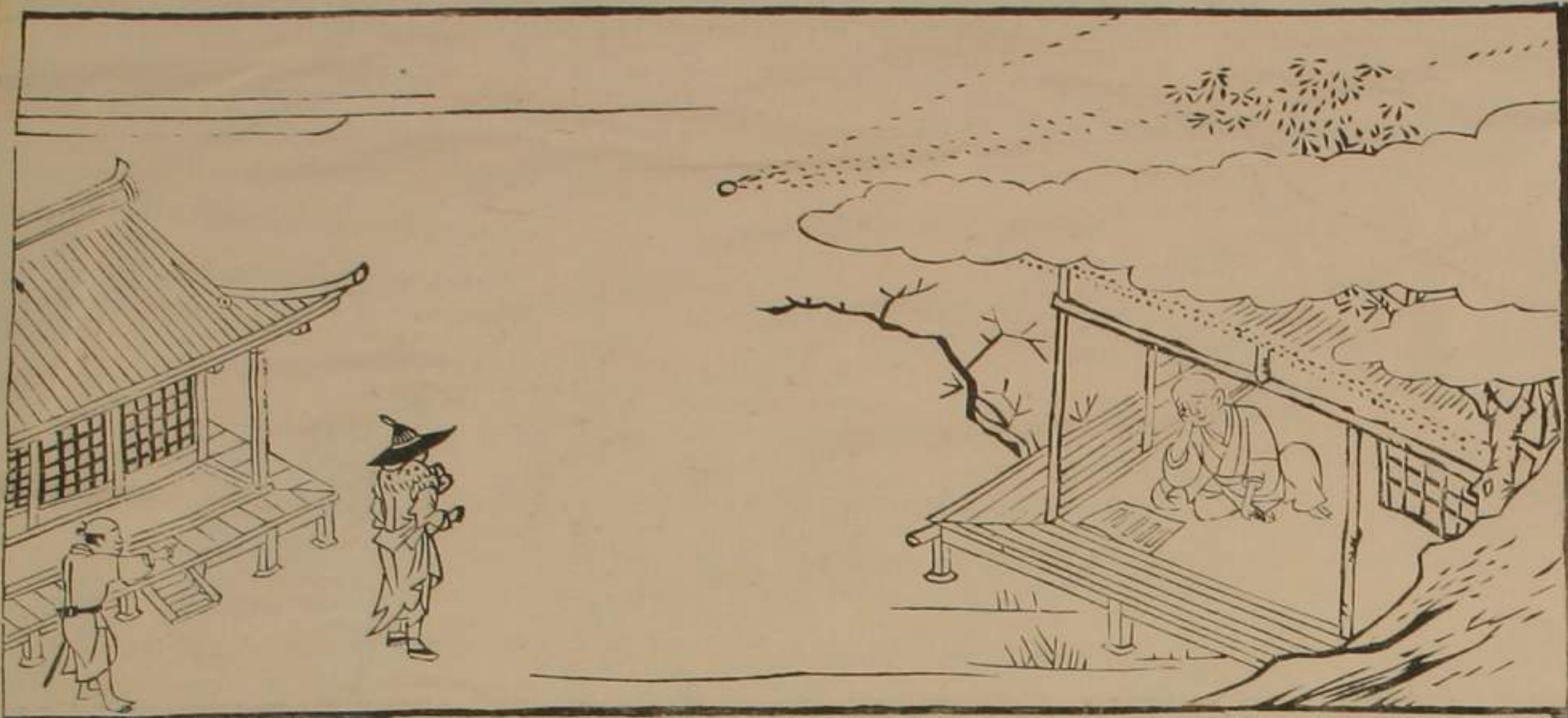
水
 言
 人
 の
 網
 全



板
 誰の
 碑の
 全
 喜
 智
 順
 水
 心
 色
 の
 全



阿
 馬
 乃
 全
 解
 成
 水
 連
 成
 心
 抑
 の
 全
 康
 終
 心
 の
 全



何れも
 石方
 慧
 白
 毒
 奴
 仁
 乃
 全
 伴
 己
 連
 全



言水
 の
 今
 心
 今
 叶
 兒
 言水



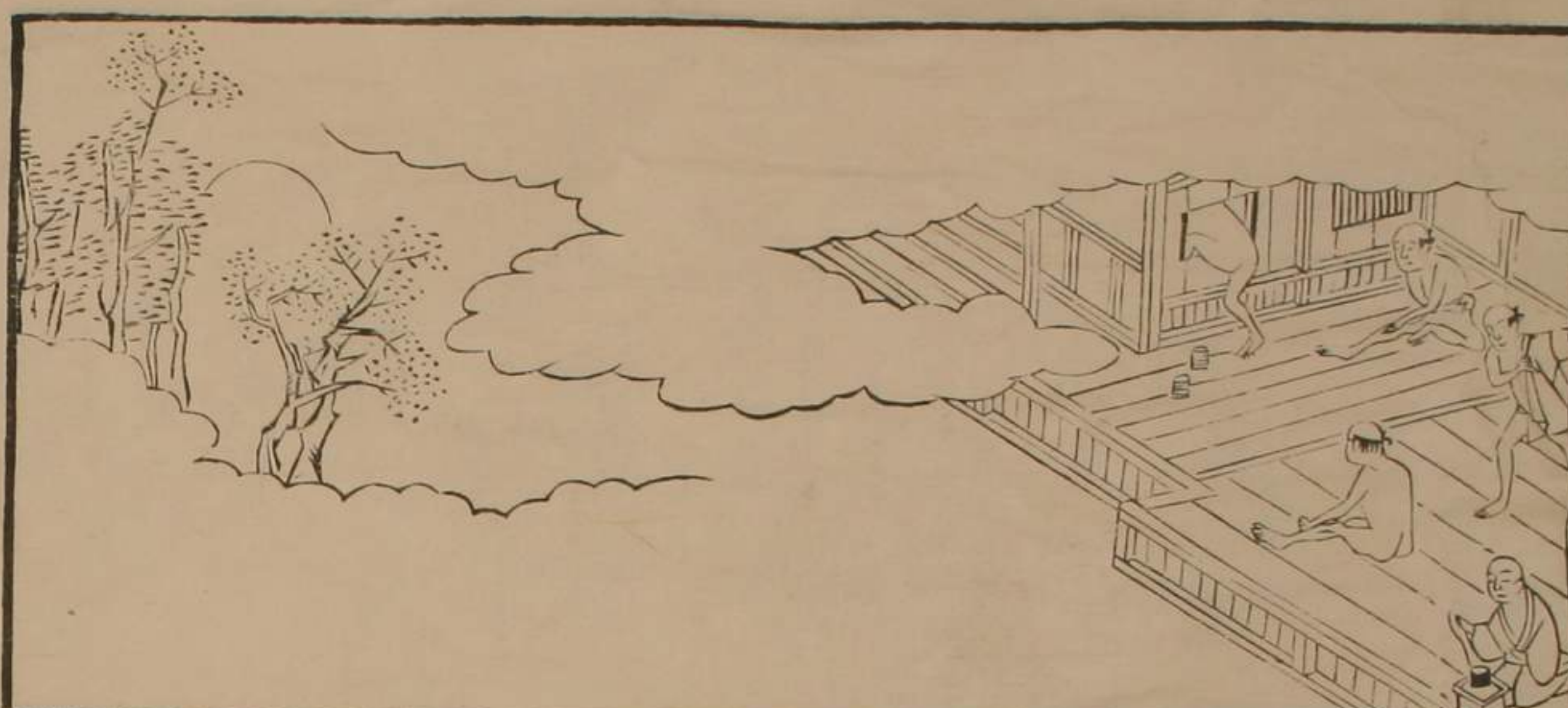
お賀女 水
 清い水
 くらと
 楽入りの
 全
 信
 全



水の
 全
 水の
 全
 水の
 全



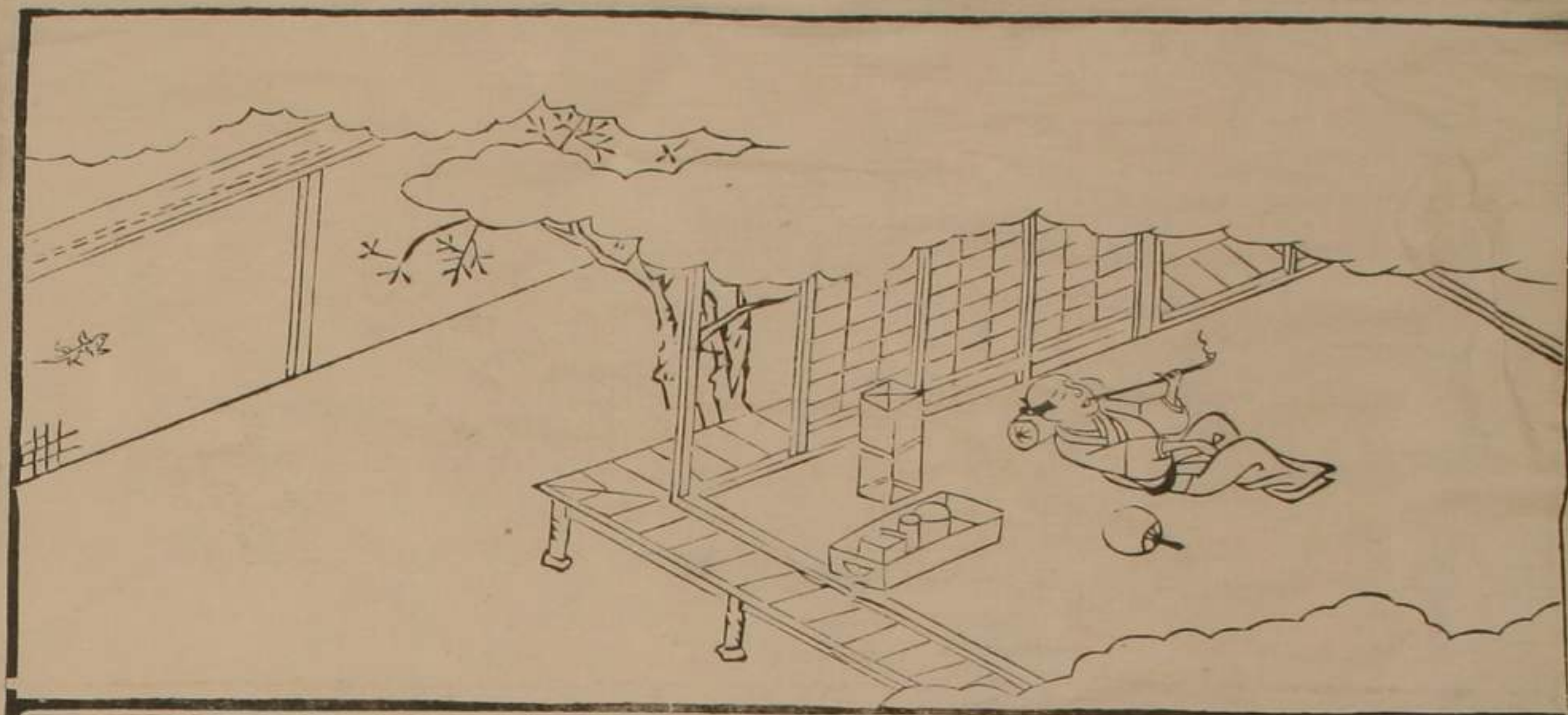
湯 果
 の 女
 御脈 全
 醫者
 はあを



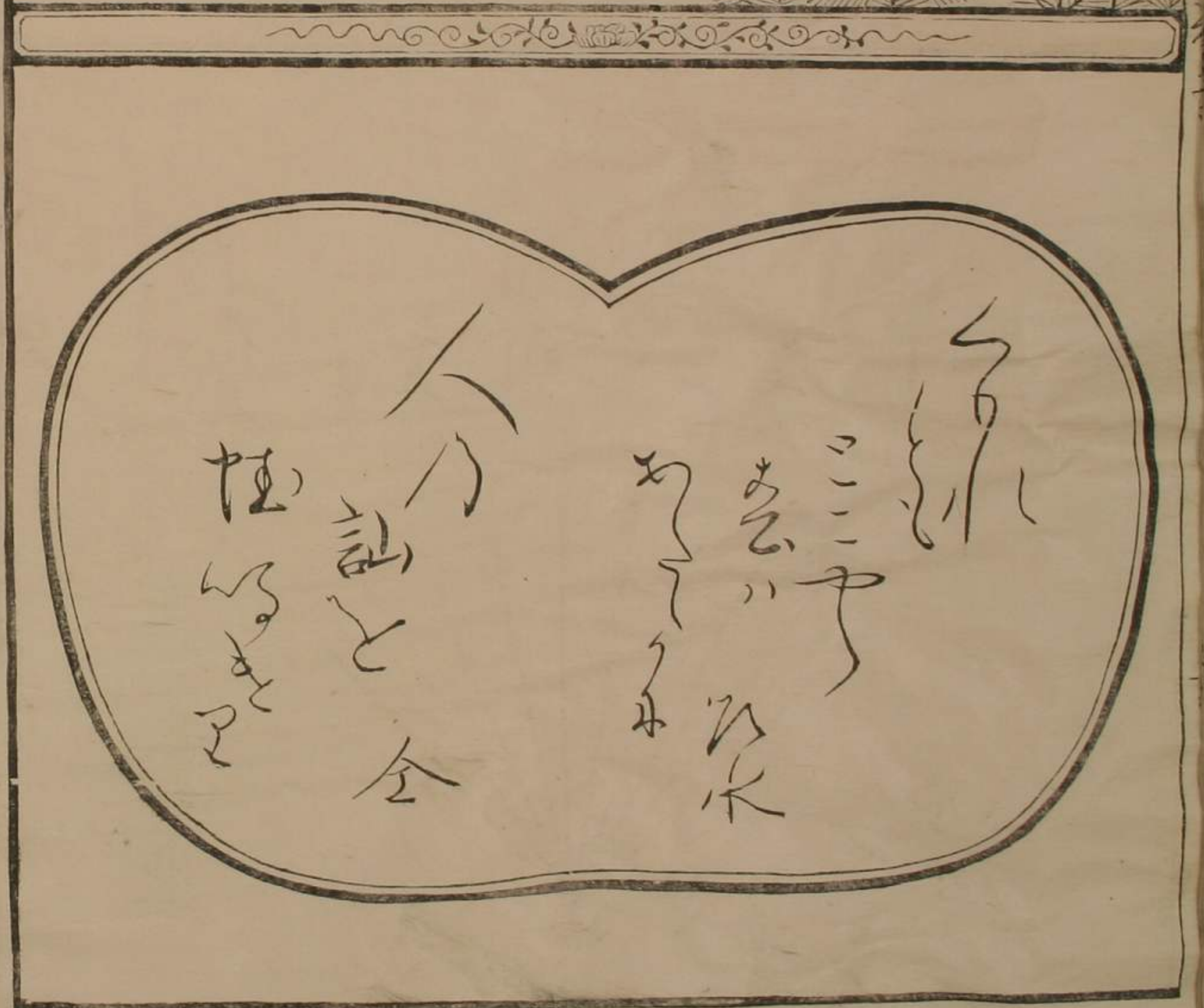
新樹
 狭間
 凡
 言水
 全

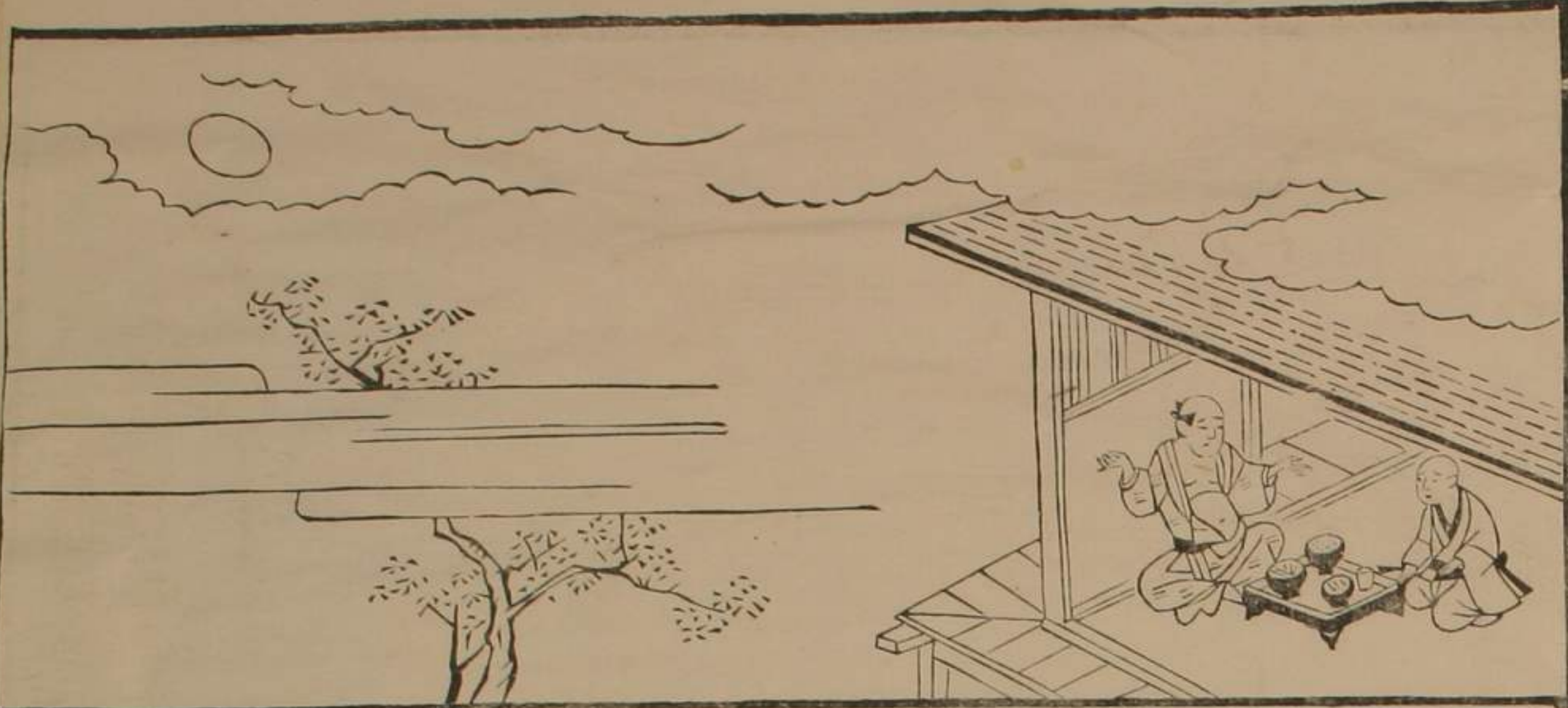


妹等 イモトラ
 恨 ハ 乃水
 髪 ハ
 花 ハ
 各の前 ハ 三
 言水



五月 ハ 乃水
 花 ハ
 言水
 全
 乃水









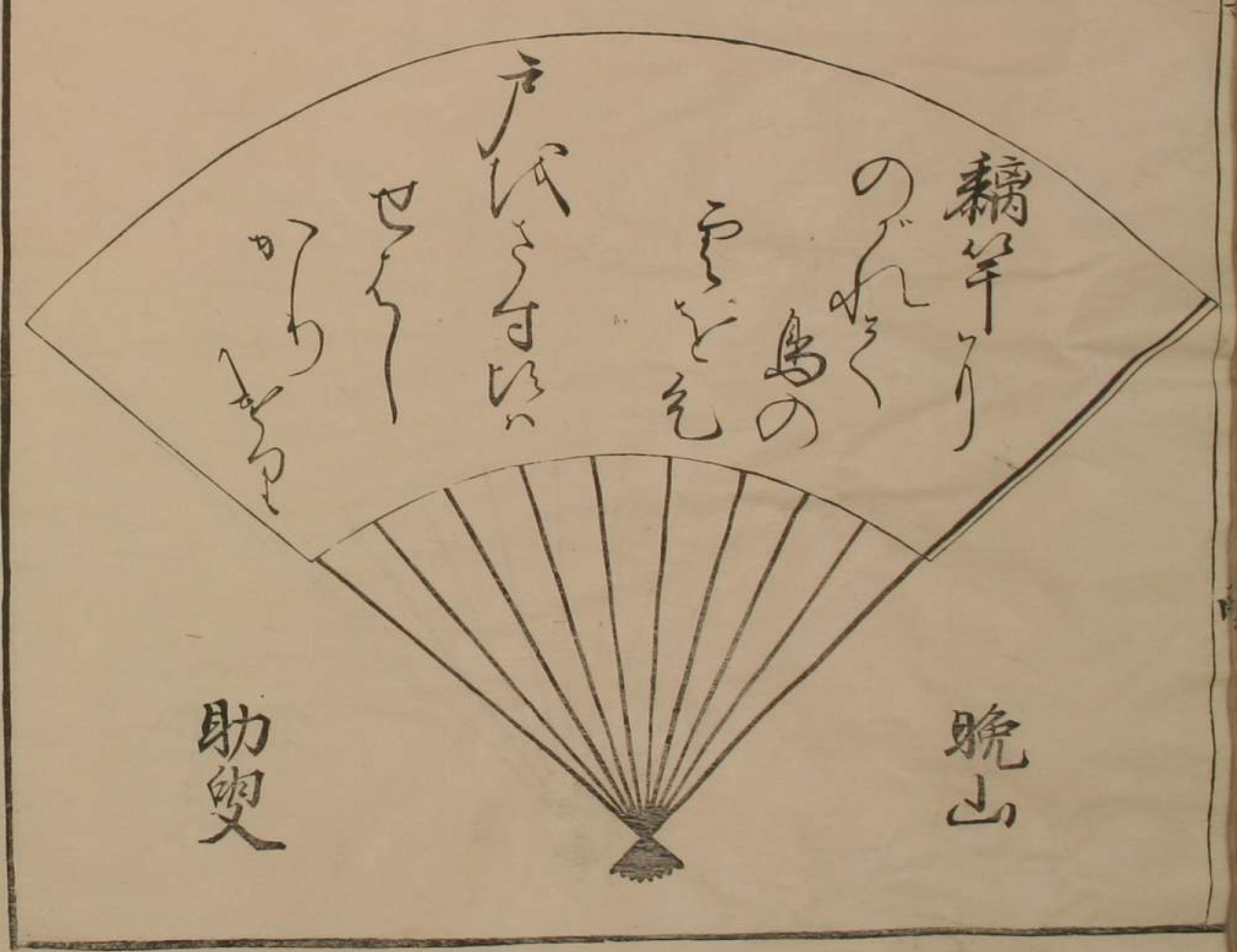
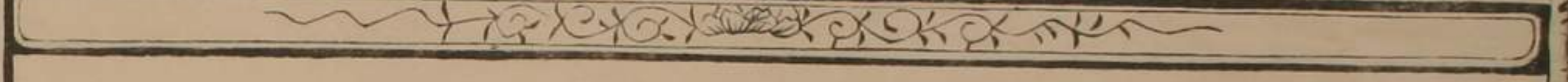
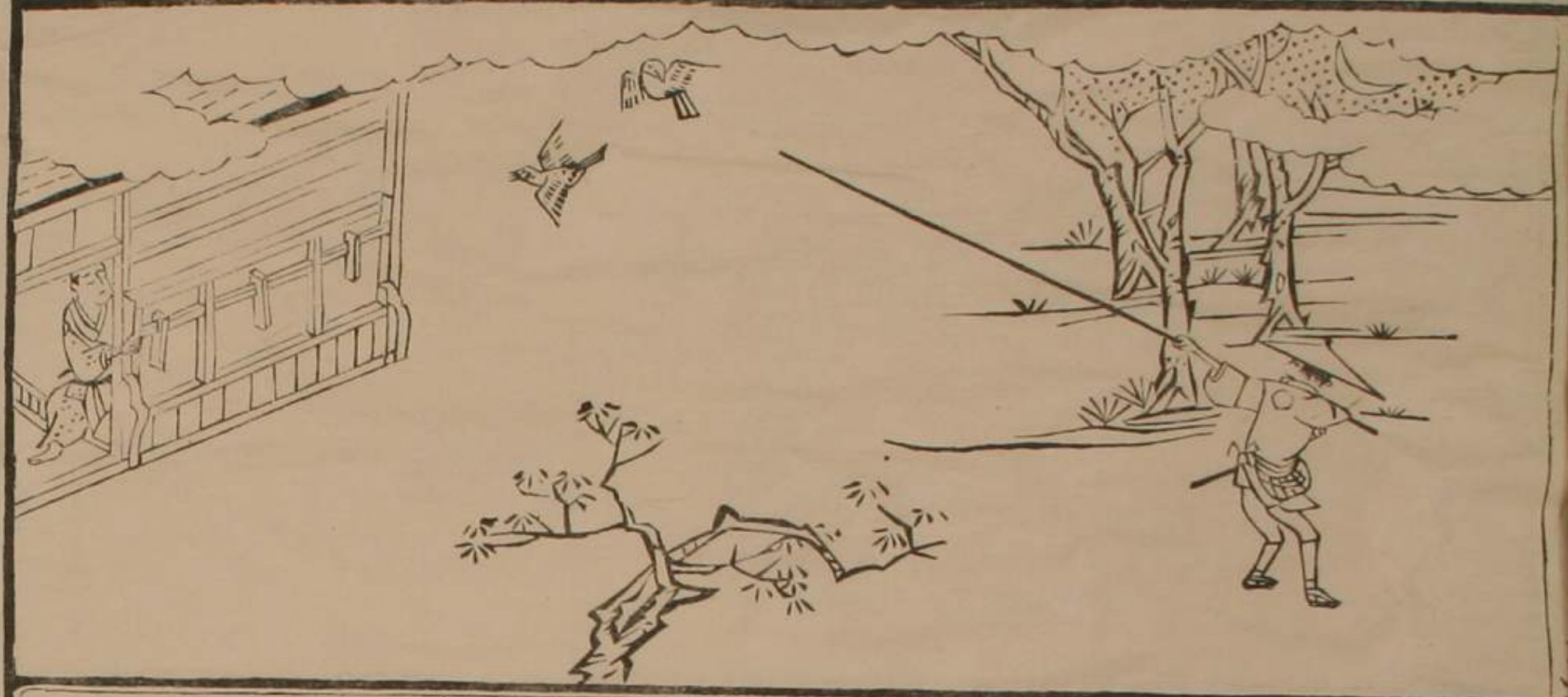
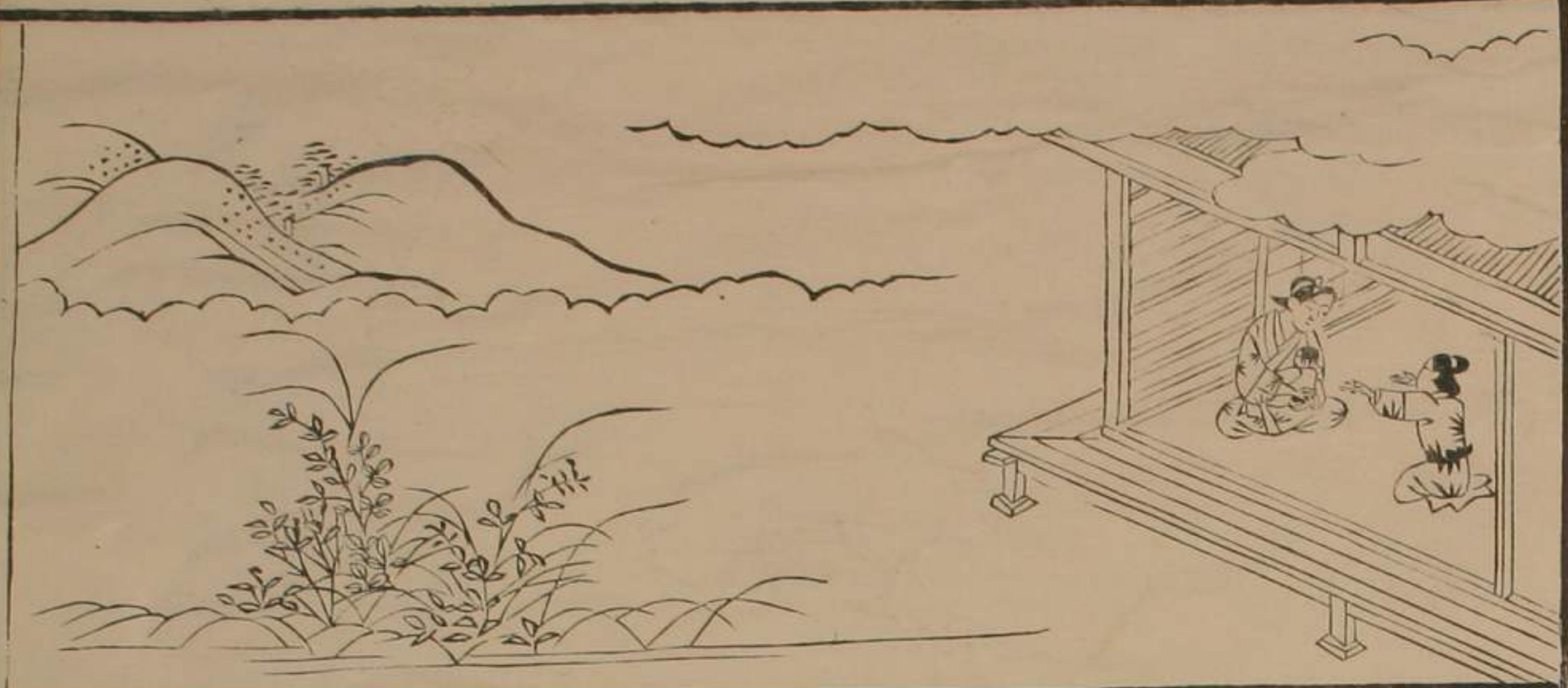
言水

春澄



如泉

順水

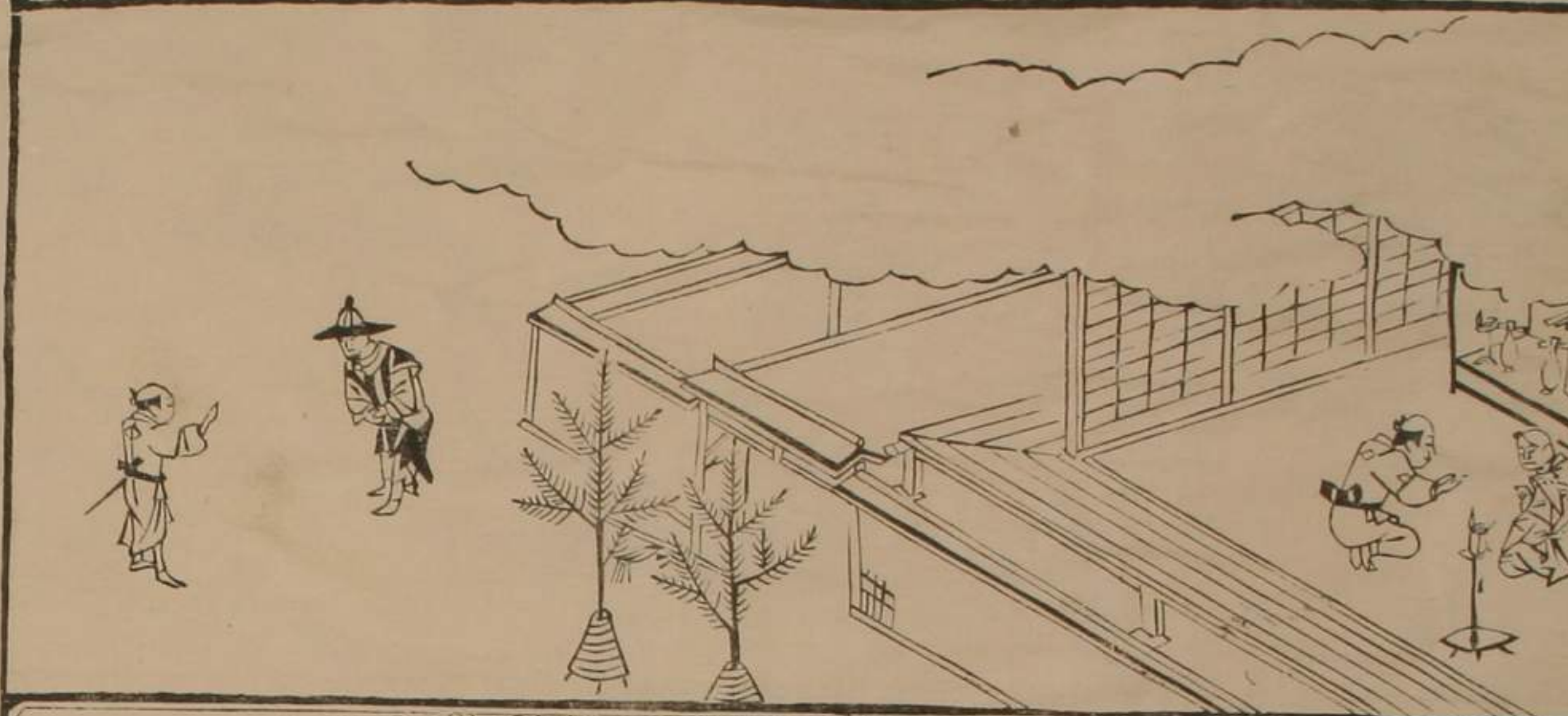


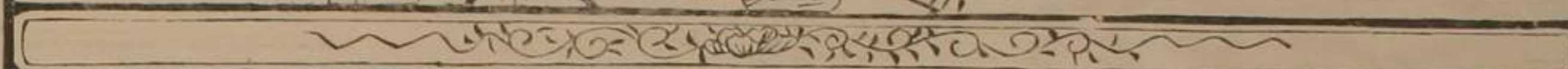
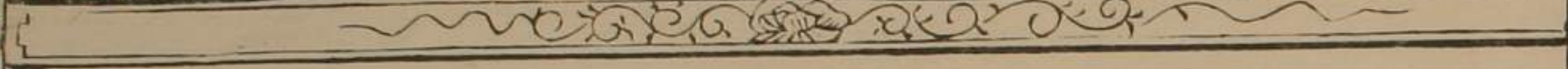
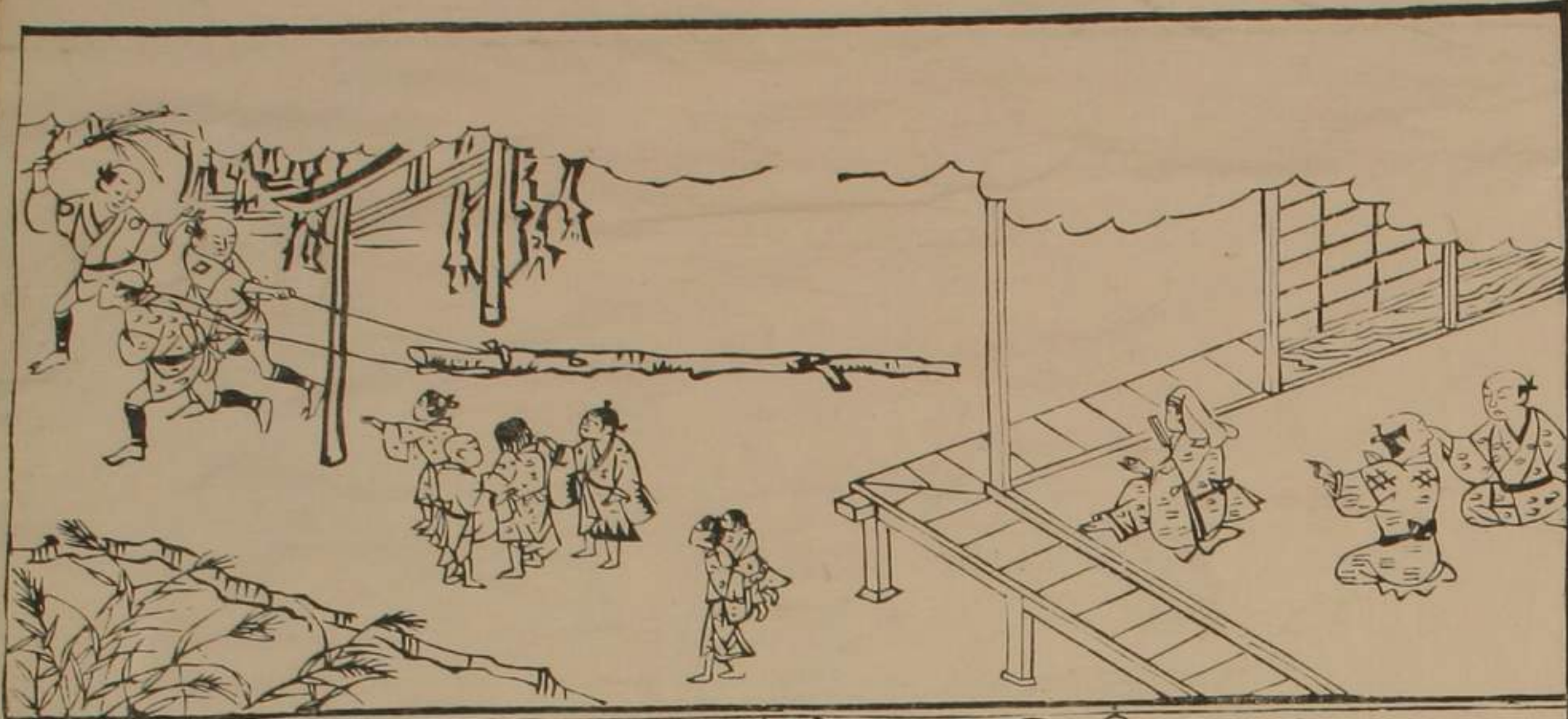


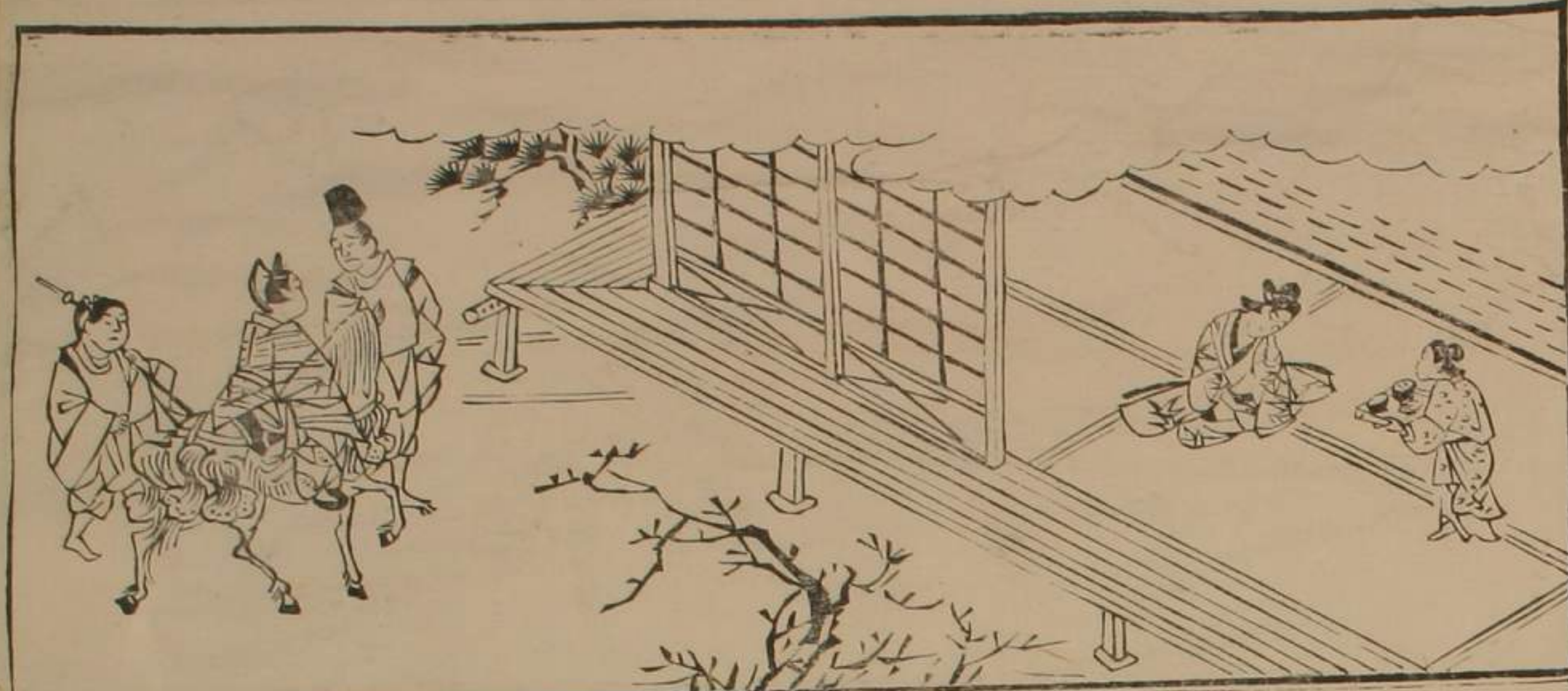
亡執事
 雷屯乃
 枝
 家
 色
 長
 言水
 幸作

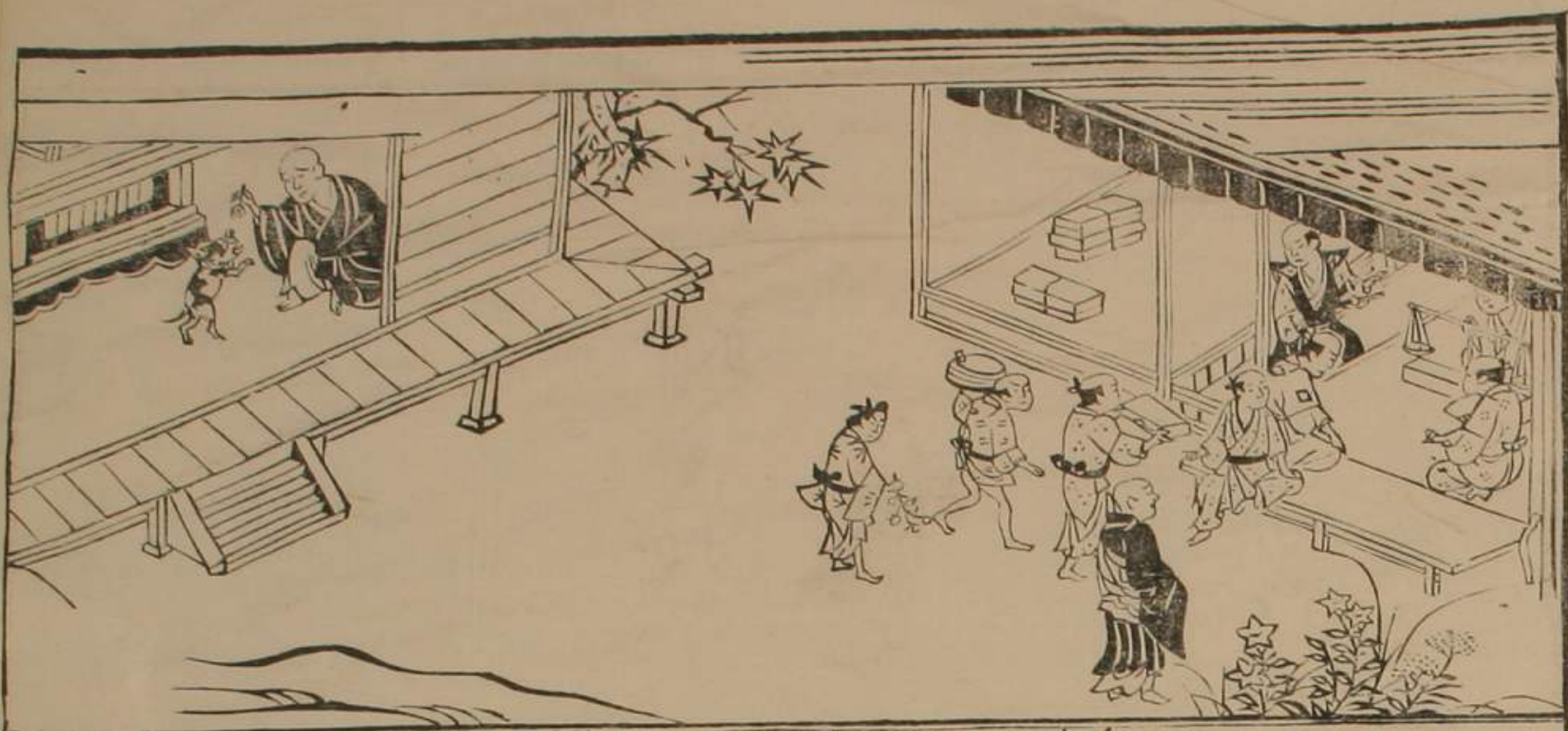


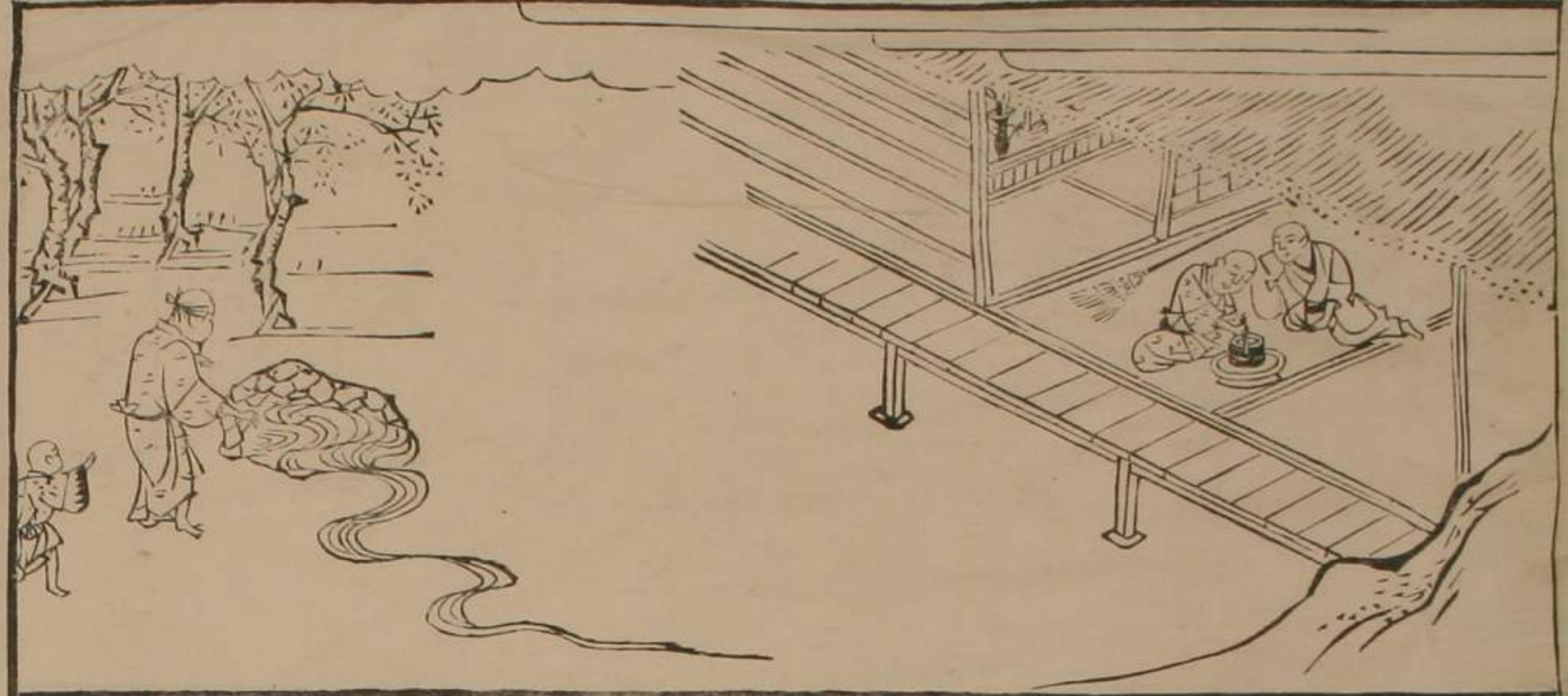
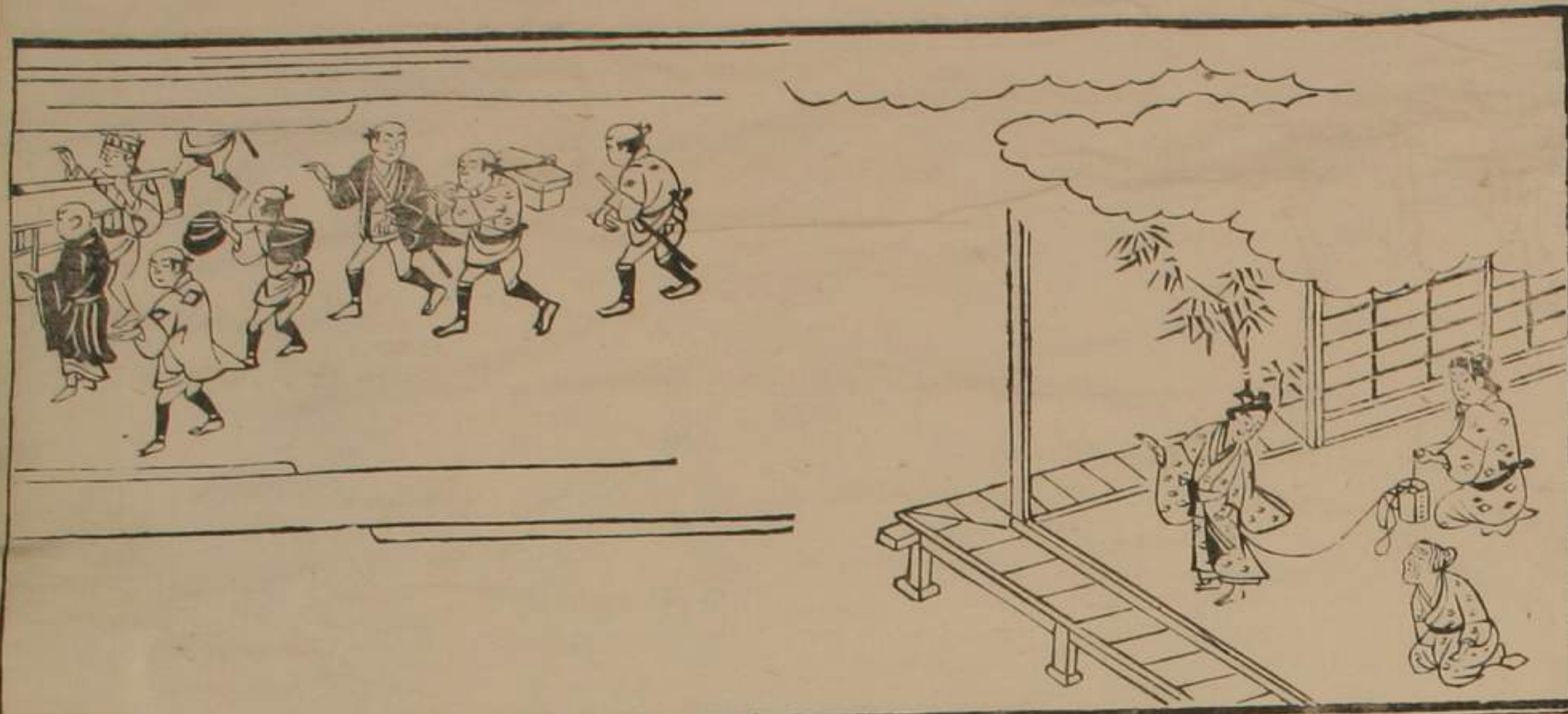
水
 如泉
 借
 沙
 頌水
 月

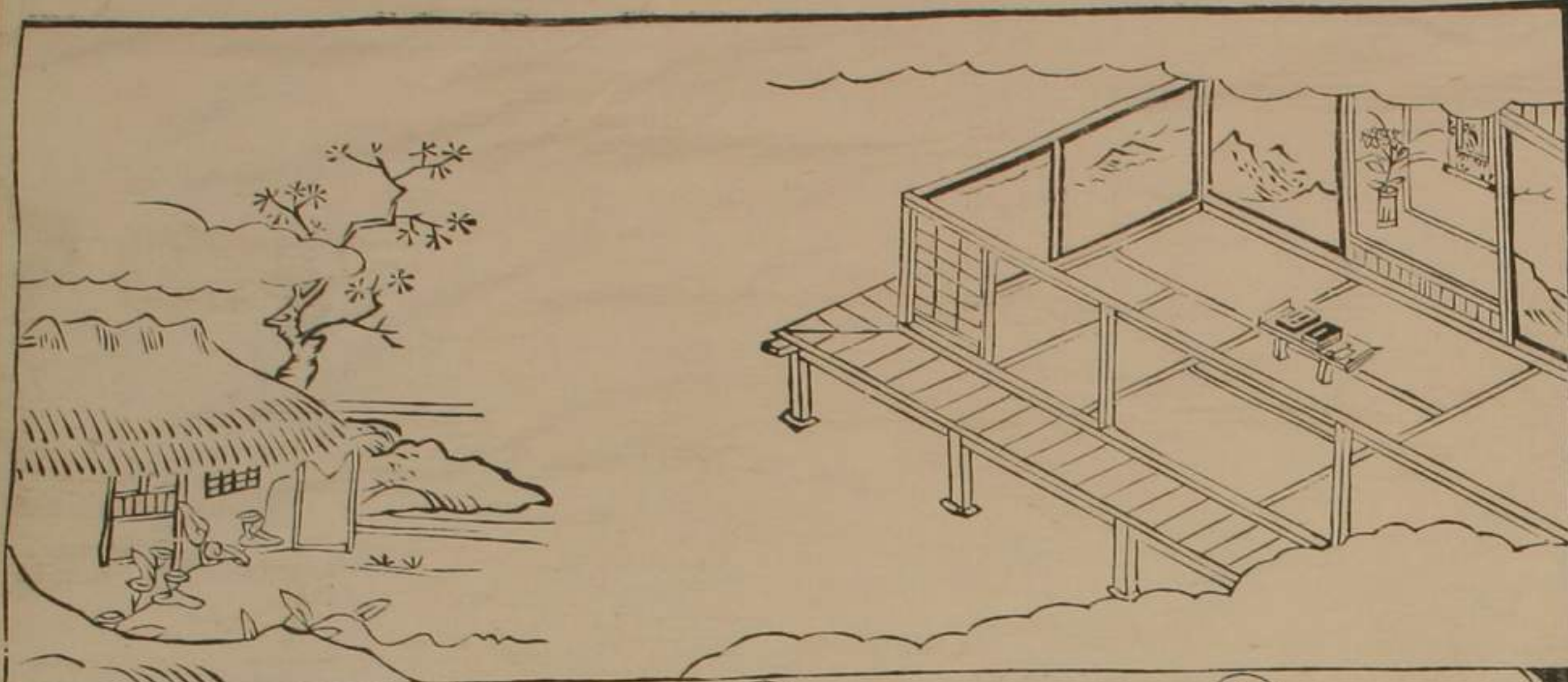






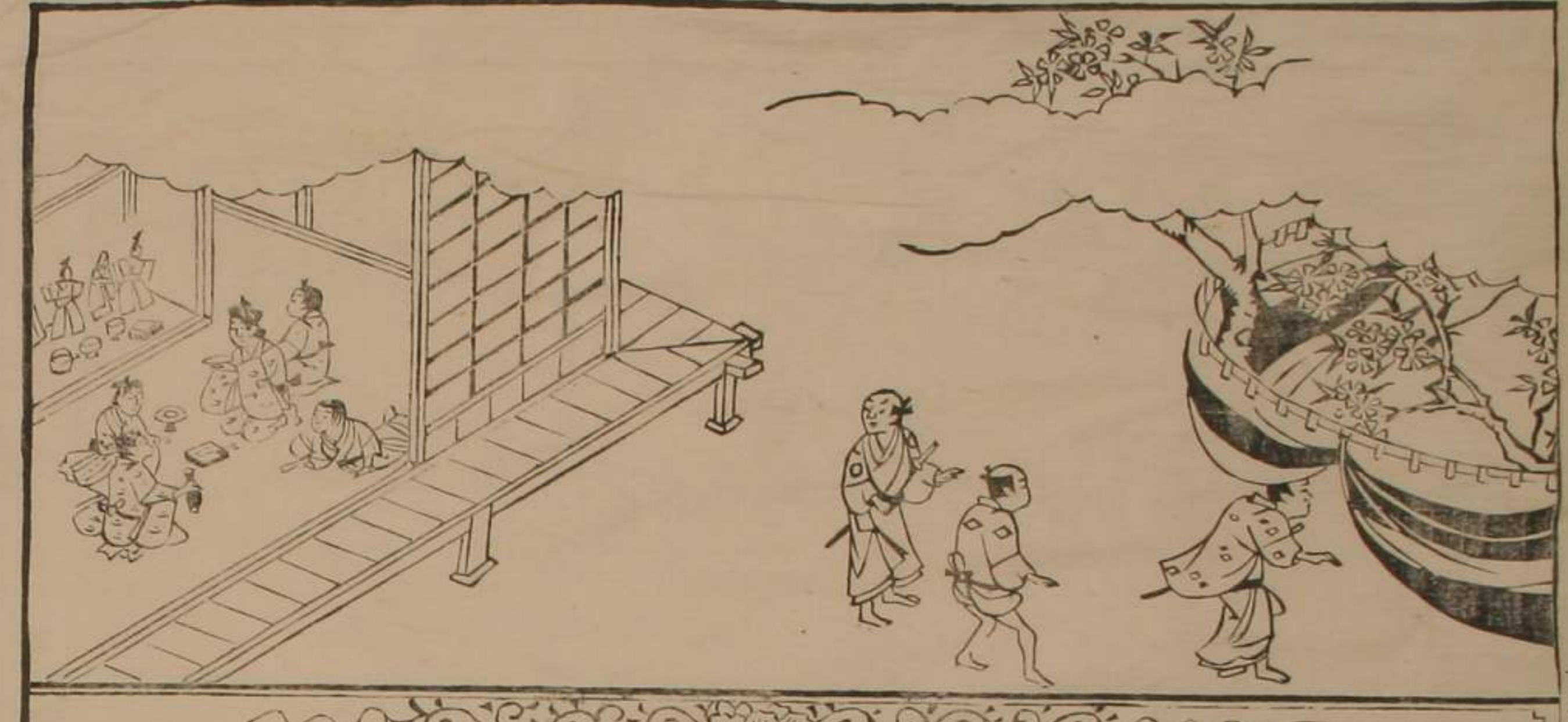






風 丸 風

只
 音
 不調法
 順水
 打月言
 友衣
 志到了也
 来心



町人言
 役あり
 男
 離れ
 酒
 雲鼓
 我



丸 丸 丸

土^ロ 酥^キ 美^キ 乃^カ 月^ノ 下^ノ
 夜^ノ あり 露^ノ 此^レ
 色^ノ 顔^ノ 虚^ノ 風^ノ
 如^ク 城^ノ 色^ノ
 固^ク 水^ノ



丸 丸 丸

驢^{ウサキ} 子^コ の ち^チ の^ノ
 探^ウ り 此^レ
 踏^フ 踏^フ
 乃^ノ 曲^ク
 万^{マン} 海^ノ
 才^{サイ} 磨^ノ



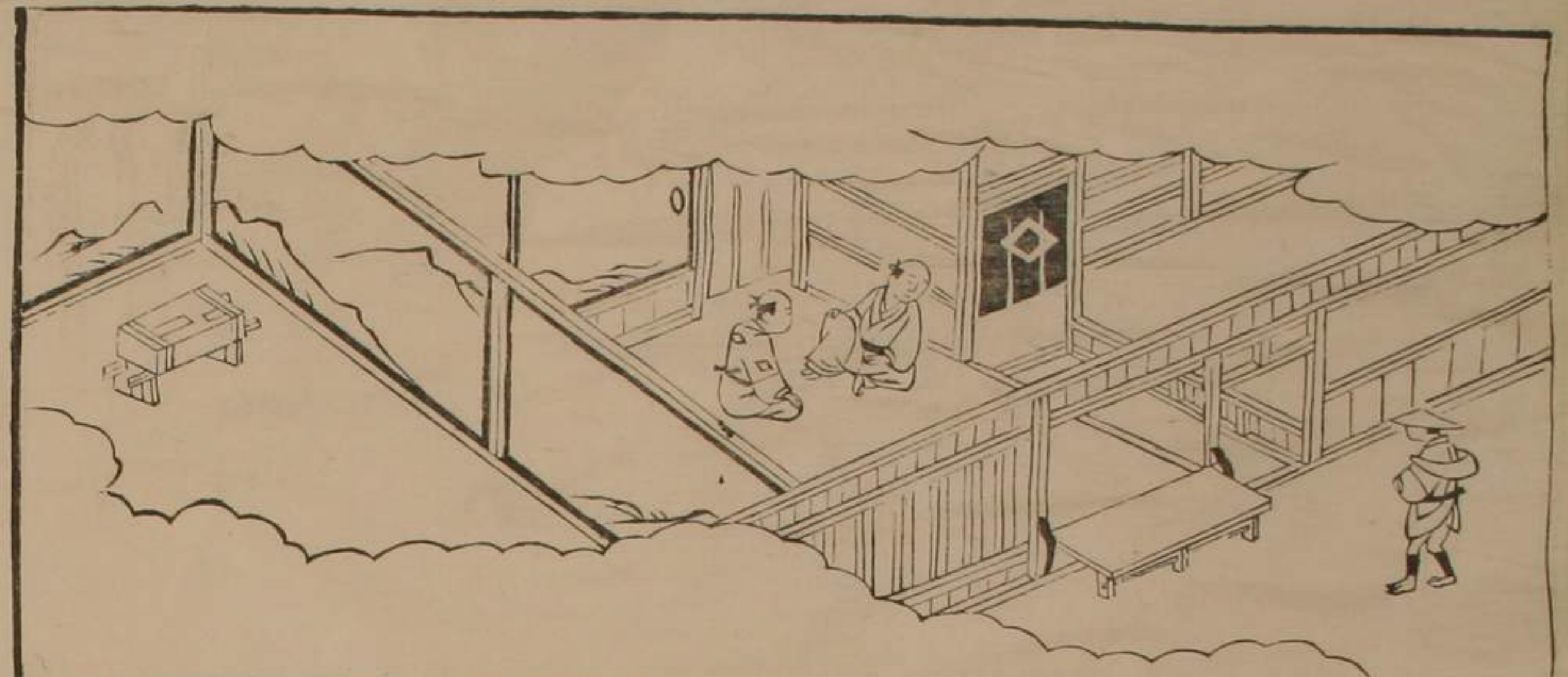
卍
九
卍

草
 乃
 文十

皆杖
 椿子

水
 結ぶかり

口百度
 福子



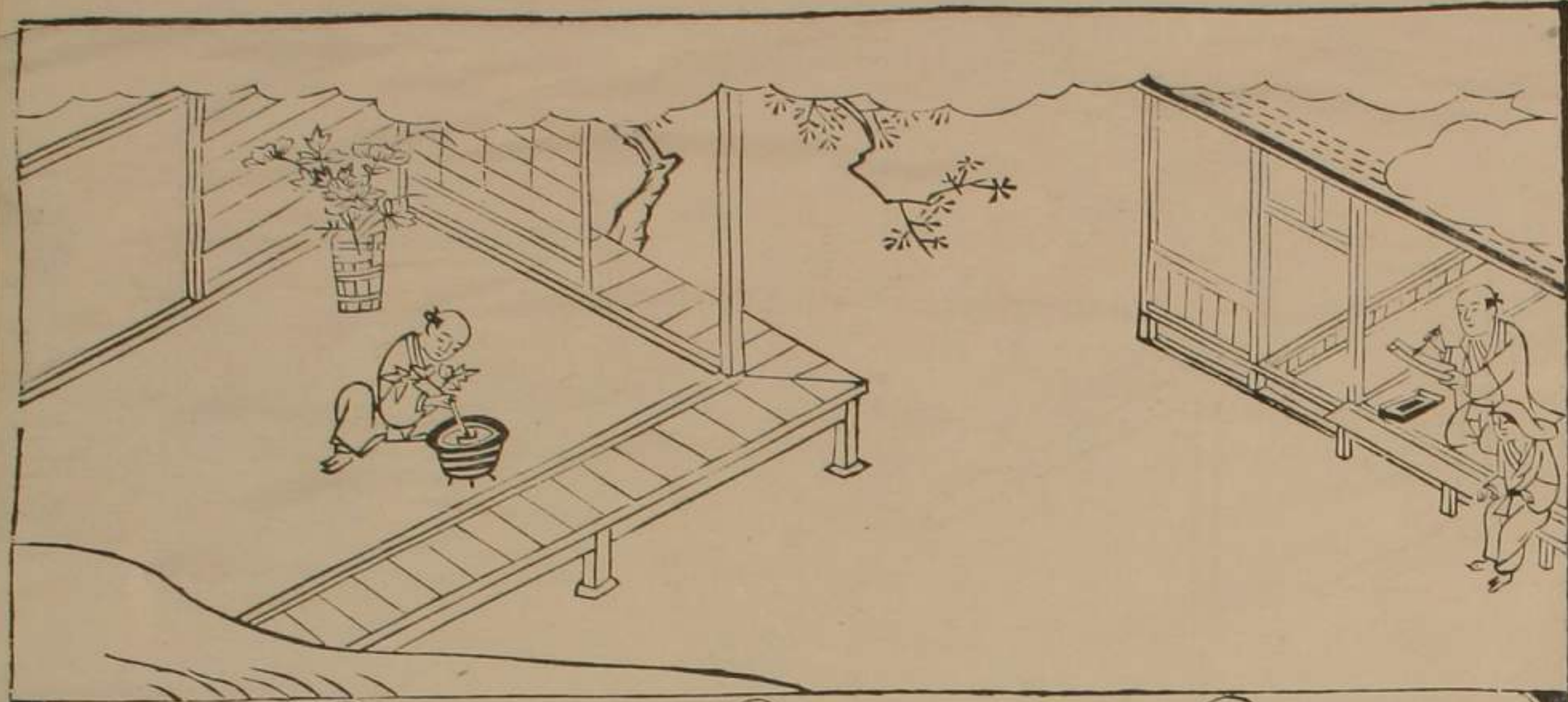
卍
九
卍

親親乃
 幽山

口合
 旅此袖

あさね
 葉子乃
 草子

新
 若
 並



丸 四

牡丹の薔薇
 水持
 才磨
 女のゆき
 やり
 順水

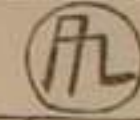


丸 四

憂
 白髪
 子
 癖
 妻
 素心
 季範



細香利と
 産尾
 牛丸
 此乃
 文十
 秋
 輝
 霜

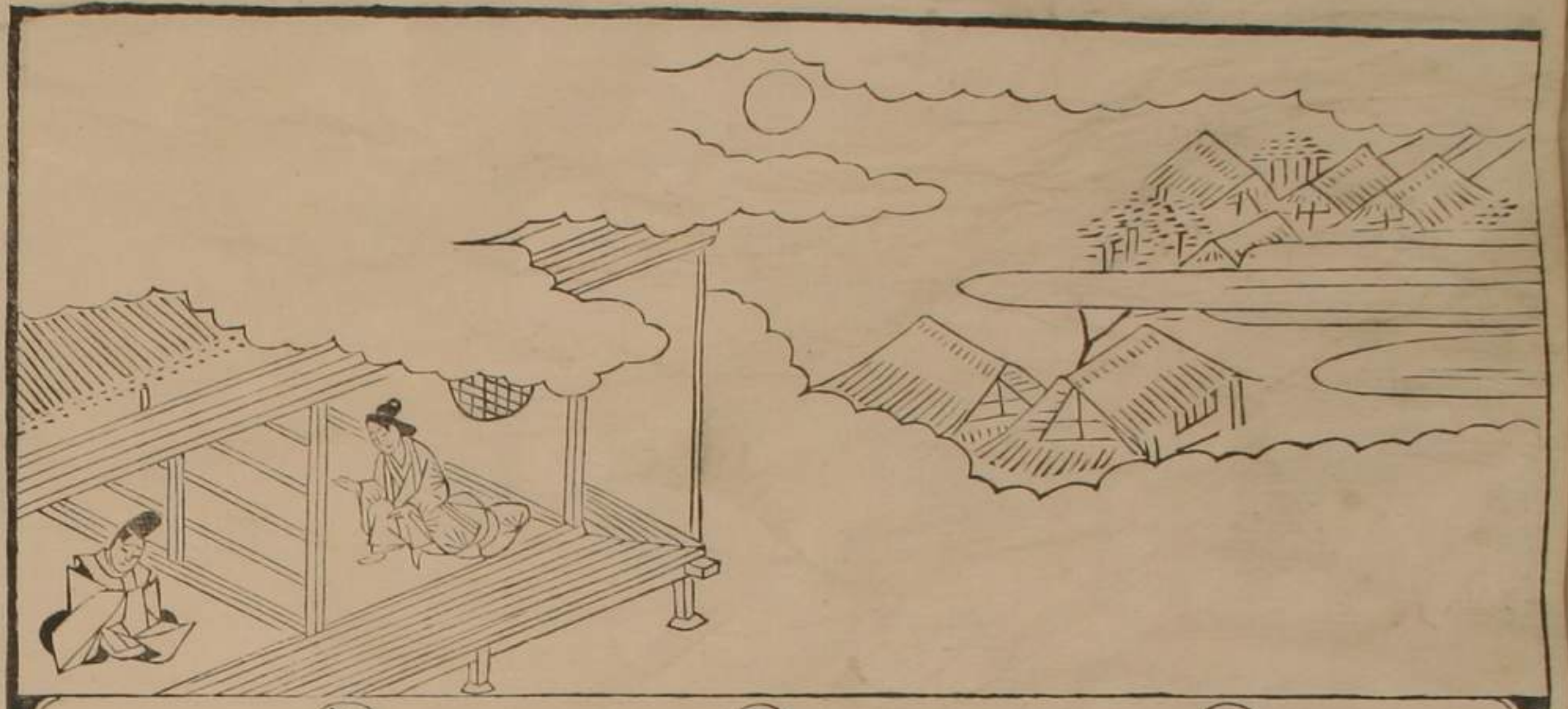


日深の
 心
 像乃一
 幽山
 襟流
 解
 心
 万海



丸 丸 丸

今様乃
 椿子
 花畫寄
 離家
 日色
 順水
 申陰

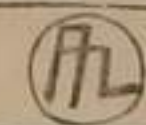


丸 丸 丸

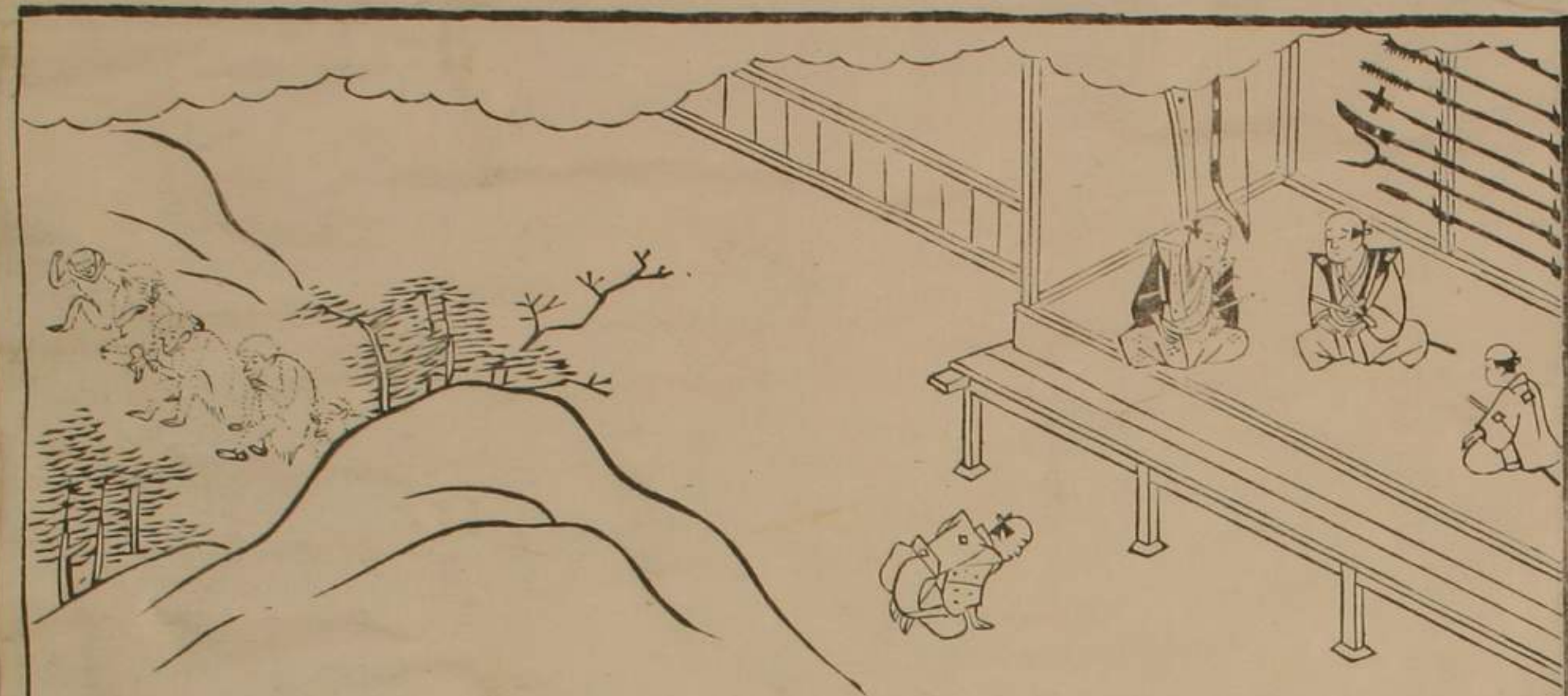
黒木家
 隅
 冬乃月
 よづれ乃
 内侍
 季乾
 心乃奇
 申陰



日和ニラギ川
 新羅
 才磨
 吹打乃喜丸
 舟フネ
 小原
 虚尾

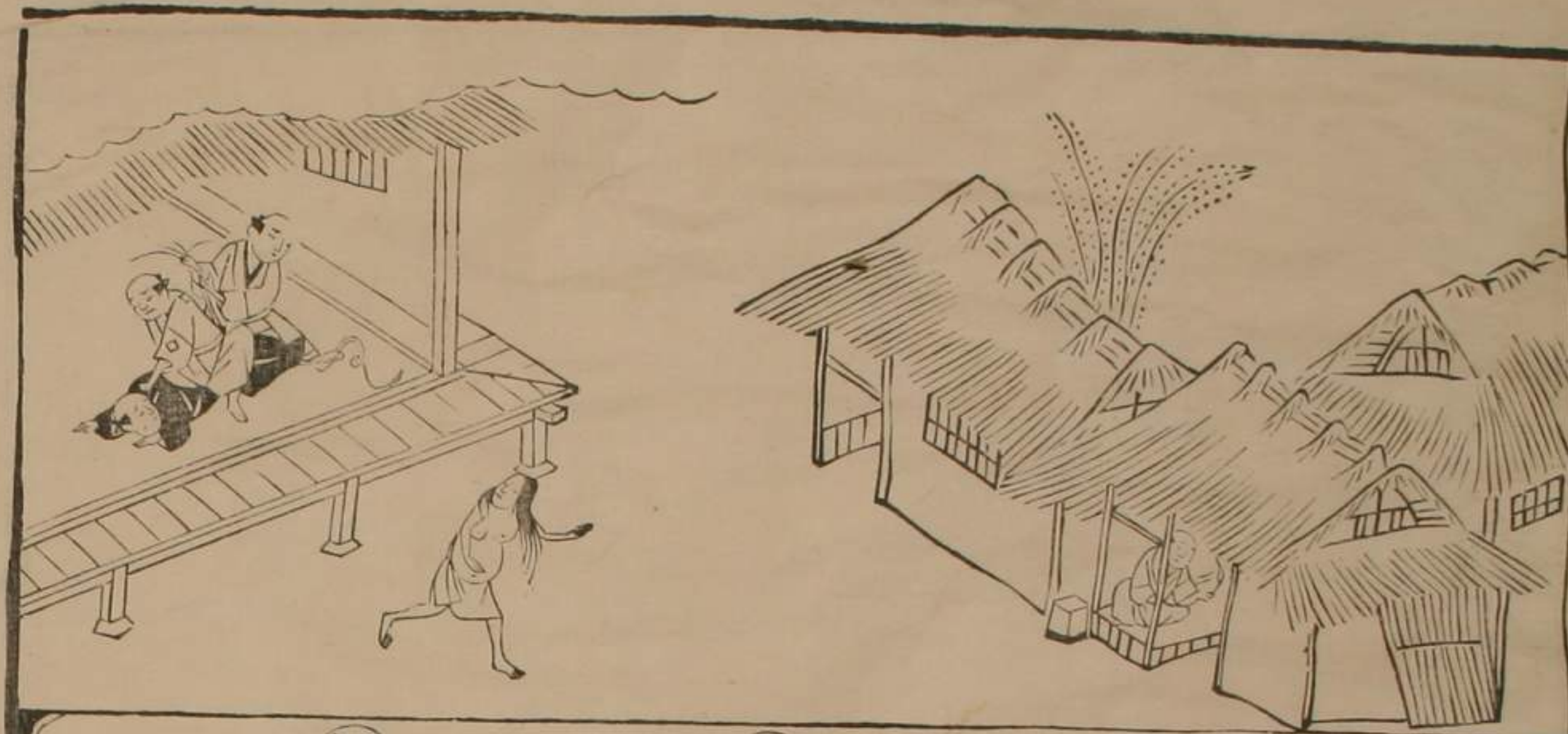


福フクのツくク
 飛トビけクえん
 小戸
 橋
 才磨
 湖合初ウミ初イ初イ
 来山



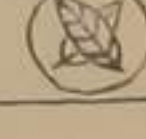
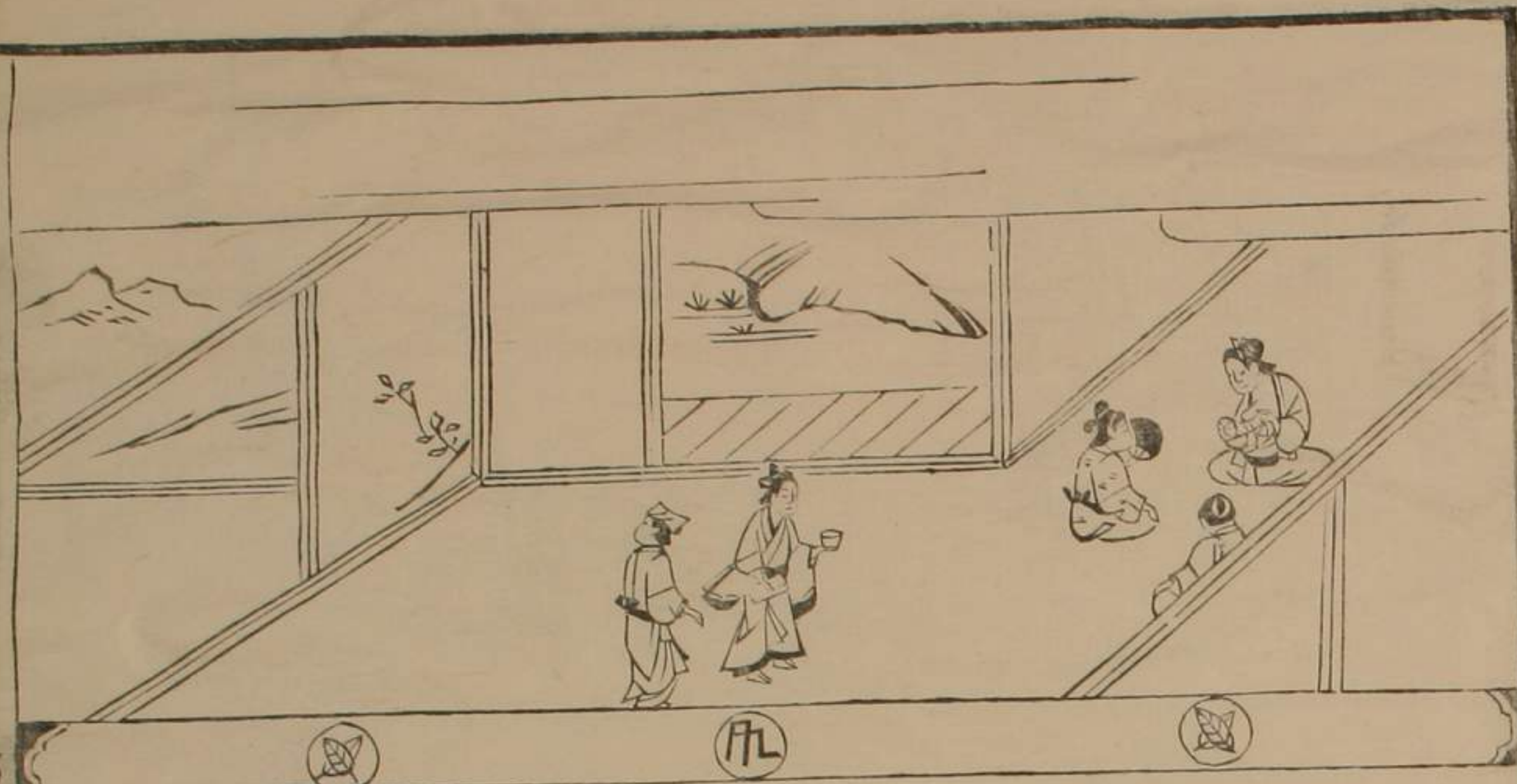
❖
丸
❖

圓代の
 利新の
 うき情
 山
 接乃
 居並
 末山
 文十

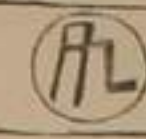
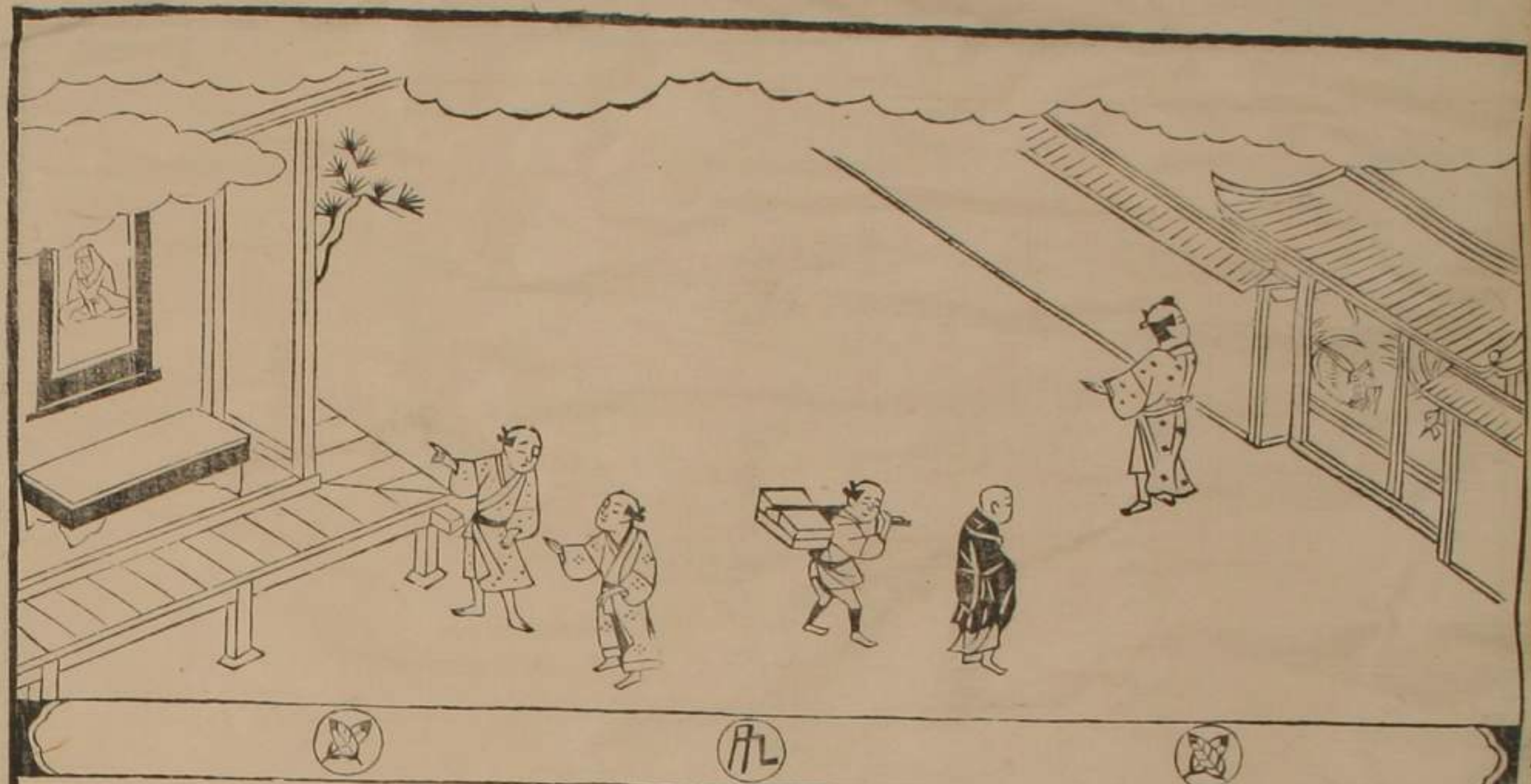


❖
丸
❖

密支
 繩乃
 密支
 結乃
 萬満
 茶屋の
 一ツ
 幽山
 灯と
 奉納



乳よ就ぬ
 子とくし
 といひく
 勢佛^レ瘡^ホの
 才磨
 首^レの^レ



繪^レの
 清盛^レ
 形斗^レ
 寺^レの^レ
 橋子
 鷹^レの^レ
 虚^レの^レ



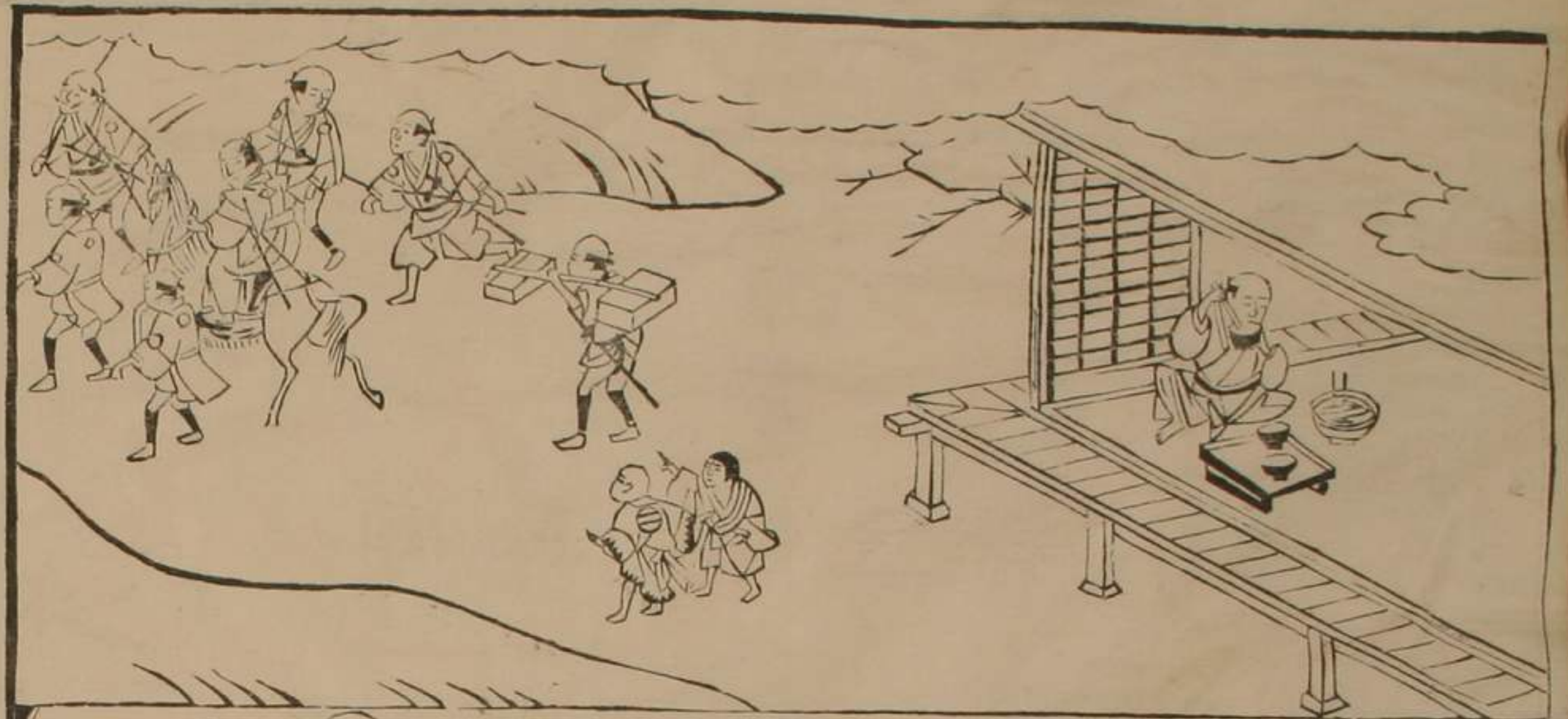
酒さの
 振園
 亭
 色
 啼
 ぬ
 戀乃因
 橋子
 幽山



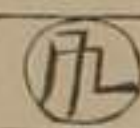
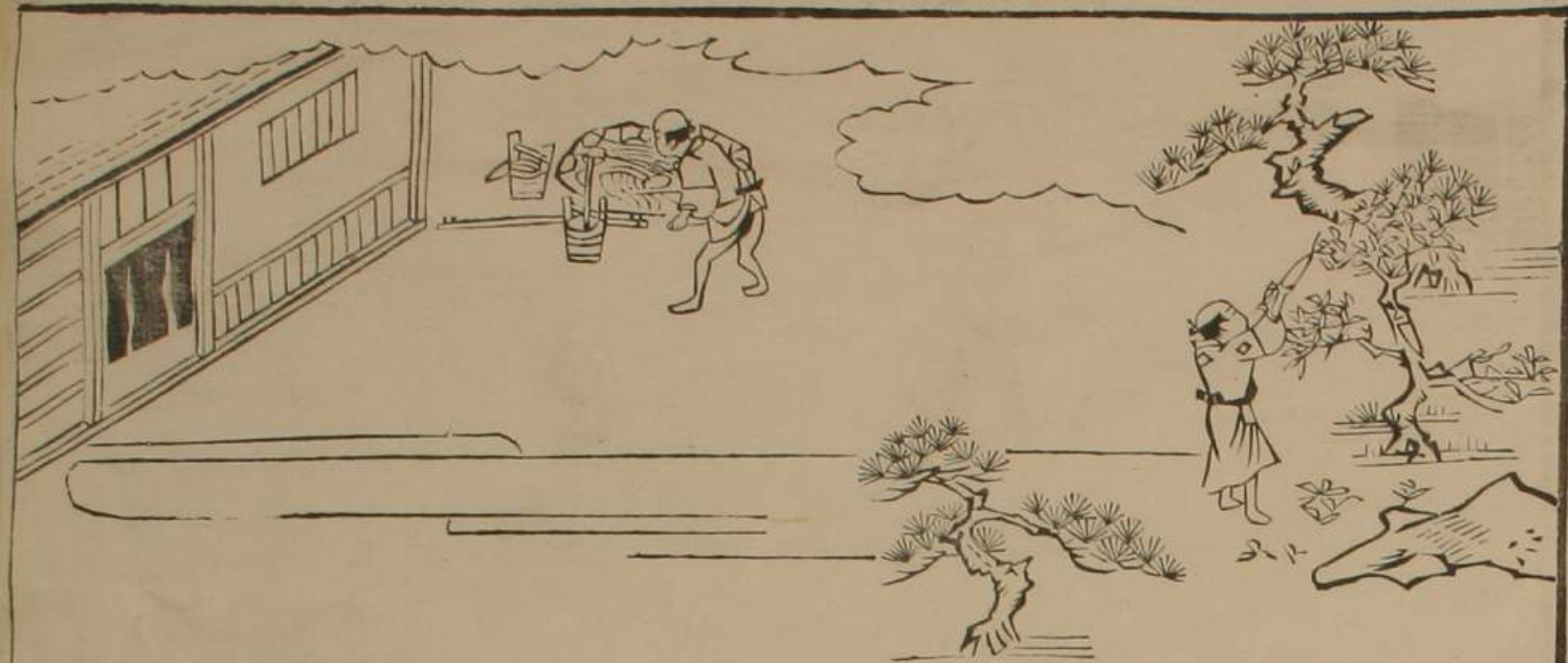
月之実
 新
 神明乃
 氣あり
 文十
 講中
 順水
 田原



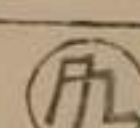
花の香
 草鞋能
 小鮎の
 年よか
 才磨
 才徳



悪冬よ
 食漬
 未山
 大若の
 虚風
 何ぞ
 才磨利の
 くらり
 くらり



木鉄乃
 居く不
 此為小
 あり
 文十
 毎日
 以茶の
 水汲よ
 出類
 執筆



紙子り
 襖
 化ガ
 孺子
 乃
 万海
 かん
 匠
 勝月窓色
 鑽之
 幽山

5
1840

